

## B&G海洋教室開催 マリンスポーツを満喫

7月13日、B&G海洋教室が開催され、町内の子どもたちが参加しました。海洋教室では、初めに水辺の安全教室が行われ、子どもたちは、水辺の危険について学びました。その後、海洋センターのインストラクターの指導を受けながら、カヌーやSUPといったマリンスポーツを満喫。また、バナナボートおんすけに乗り湾内を周遊しました。今回初めて参加した阿部凰育君あべのりく（大浦小5年）と山根瑛龍君やまねえいりゅう（大浦小4年）は「カヌーの乗り方などを教わり楽しかったです。」と笑顔を見せていました。



## 鯨と海の科学館 2周年イベント 講演会で鯨への理解を深める

7月15日、鯨と海の科学館が再開館後2周年を迎えました。同日、記念イベントとして、特別講演会を開催。講師は、鯨と海の科学館のシンボルであるマッコウクジラの骨格標本の製作を指導した東京海洋大名誉教授の加藤秀弘さん。「クジラ・地球が生んだ一番大きな動物—鯨と海の科学館が目指した大きなクジラの世界—」と題し、鯨の生態や被災した骨格標本の復旧について説明。また、講演の後には、自らが作成を指導した骨格標本を前に解説をし、皆で鯨の理解を深めました。

## 地域の良さ知ってもらう機会に 荒川小児童が畦畔管理体験

7月1日、荒川地区で荒川小児童による畦畔管理体験が行われました。これは山田北地区農地・水環境保全組織が主催したもので、畦畔けいはん（田畑を区切るあぜ）に、雑草の発生を抑えるために植物を植えるというもの。この日植えたのはイブキジャコウソウで、成長するとピンクの花を咲かせます。参加した児童らは、一つ一つ丁寧に苗を植えていました。体験会の開催に協力した山田土地改良区の瀬川智宏会長は「大人になってから故郷の良さを思い出してもらいたい」と、体験学習の重要性を語りました。



## 子どもふれあい広場 楽しい踊りに園児ら大興奮

7月5日、町中央公民館において子どもふれあい広場が開催されました。これは、町内の園児が歌や踊りなどを通して交流を図るイベントで、当日参加したのは園児93人。ゲストに、体操やダンス、あそび歌などの楽曲を制作し、全国各地で活躍している福田りゅうぞうさんを招いて行われました。福田さんの、耳に残る音楽と真似したくなる踊りに、園児らは大興奮。目一杯体を動かしながら、友達と踊ったり触れ合ったりと、楽しい時間を過ごしていました。





# 町のあだい

今月の題字 佐々木 史矢さん（豊間根小6年）



## 復興記念まちびらきを開催 新たなまちづくり誓う

6月30日、山田町中央公園で復興記念まちびらきが行われました。土地の引き渡し完了した節目として行われたこのイベント。山田八幡宮と大杉神社の神輿渡御も行われ、復興記念を祝いました。佐藤町長はあいさつの中で「発災以降、多くの皆さまに復興に携わっていただいた。皆さまの思いが新しいふるさと山田を築き上げてきたと実感している。魅力と活力溢れる町にしていく」と、新たなまちづくりを進めることを誓いました。その後はえびすまきやAKB48グループなどのステージが行われ、会場は多くの人でにぎわいました。

## オランダ島ハウス5周年 オープンハウスデー開催

6月22日、オランダ島ハウス寄贈5周年を記念し、支援して下さった方々を招待し、オープンハウスデーが開催されました。初めにオランダ王国大使館の研修生による講演が行われ、子どもたちはオランダの文化を学びました。お昼には、山田の食材を取り入れたオランダ料理が提供され、参加者らは料理を片手に交流。また、オランダの定番ゲーム「シューレン」の大会が開催され、白熱したバトルが行われました。最後にオランダ島ハウスを利用している子どもたちから、支援者の方々に感謝の手紙が読まれ、周りには笑顔があふれていました。

